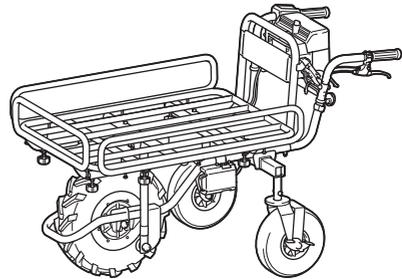


Makita

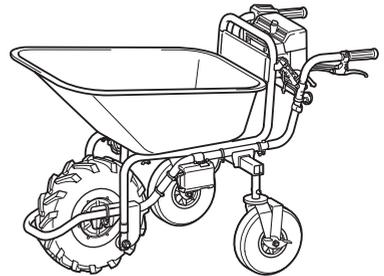
取扱説明書

充電式運搬車

モデル CU180DN



パイプフレーム(別販売品)仕様



バケット(別販売品)仕様

このたびは充電式運搬車をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式運搬車安全上のご注意	11
・ 各部の名称	15
・ 梱包部品	17
・ 別販売品のご紹介	18
・ ご使用前の準備	19
・ 本機の組み立て方	19
・ バッテリーとキーの取り付け・取りはずし方	25
・ 使い方	27
・ バッテリーについて	27
・ バッテリーを長持ちさせるには	27
・ バッテリーの回収について	27
・ ハンドルの高さ調整	28
・ 後輪の幅調整	28
・ バイプフレームの幅調整	29
・ 基本操作	30
・ 各種機能	34
・ 運搬方法	37
・ 荷台の持ち上げ方法	39
・ 保管について	40
・ 保管方法	40
・ 保守・点検について	41
・ ご使用前の点検	41
・ ブレーキの調整	43
・ 前輪の空気圧調整	47
・ 本機のお手入れ	48
・ ご修理の際は	48

主要機能

主要機能	モデル	CU180DN
電動機		インホイールモータ
バッテリー (別販売品)		リチウムイオンバッテリー
		バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
		バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah)
		バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
		バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah) バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
電圧		直流 18 V
最高速度		前進：3.5 km/h または 1.5 km/h
		後進：1.0 km/h
速度調整		スイッチレバー (0 km/h ~ 最高速度)
走行可能距離		1.8 km (BL1830B × 1 個) ※バッテリー 2 個搭載可能 / 切り換えスイッチ付き
使用可能時間		30 分 (BL1830B × 1 個) ※バッテリー 2 個搭載可能 / 切り換えスイッチ付き
最小回転半径		1,075 mm (前輪を軸に回転した場合の最外径)
最大登坂能力		12°
最大積載量		130 kg
ブレーキ		前輪：ワイヤ式ディスクブレーキ
		後輪：ペダル固定式
タイヤ		前輪：チューブレスタイヤ
		後輪：ノーパンクタイヤ
本機寸法 (長さ×幅×高さ)		パイプフレーム装着時： 最大：1,535 mm × 1,035 mm × 915 mm 最小：1,110 mm × 670 mm × 820 mm
		バケット装着時： 最大：1,290 mm × 815 mm × 915 mm 最小：1,110 mm × 590 mm × 820 mm
質量 (バッテリー BL1830B 1 個含む)		パイプフレーム装着時：45 kg
		バケット装着時：40 kg

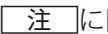
- 本機は、道路交通法上の「原動機を用いる軽車両」の型式認定を取得しています。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

禁止事項

- ・ 絶対に荷台に乗ったまま本機を操作しないでください。
- ・ 荷台に人を乗せて、乗り物として使用しないでください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電式製品や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. アース（接地）された金属製のものに身体を接触させた状態で充電式製品に触れないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電式製品や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 針、針金が入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 充電式製品を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電式製品を使用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電式製品を使用しないでください。
- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

充電式製品の使用および手入れ

1. 充電式製品は能力に合った作業に使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、充電式製品の能力に合った負荷で作業してください。

2. 電源ボタンやスイッチに異常がないか点検してください。

- ・ 電源ボタンやスイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. 充電式製品の誤始動を防ぐために、次の作業前は電源ボタンやスイッチを切り、バッテリーとキーを充電式製品から抜いてください。

- ・ 調整、付属品の交換
- ・ 保管、または修理
- ・ 充電式製品から離れるときや、受け渡し
- ・ その他、危険が予想されるとき

4. 使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

- ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
- ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。(バッテリーカバー付きの場合)

⚠ 警告

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
6. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、充電式製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
7. 充電式製品、付属品やアタッチメントは、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを挿し込む前に、電源ボタンやスイッチを切り、キーが取りはずされていることを確認してください。
 - ・ 事故の原因になります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 充電式製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 充電式製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。（バッテリーカバー付きの場合）
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠ 警告

6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
10. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
12. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
13. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
14. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。（右図の○部分）



⚠ 警告

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 充電式製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 充電式製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 充電式製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。電源ボタンやスイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - 充電式製品やバッテリーが異常に熱い。
 - 充電式製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - 電源ボタンやスイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - 爆発や火災の恐れがあります。
4. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 警告

5. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
6. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
7. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
8. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
9. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
10. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式運搬車として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

● 運転の前に

- 本機は道路交通法では「原動機を用いる軽車両」として扱われます。道路を走行する場合は、交通法規やマナーを守り、周囲に十分注意して安全な走行を心がけてください。
- 本機の走行および取り扱いに慣れるまでは、安全な広い場所で、発進、停止、旋回、後進などを十分に練習してください。
- 本機を使用する前に、必ず点検を実施してください。

● 走行時の注意

- 車道と歩道または路側帯の区別のあるところでは、車道の左端に寄って走行してください。
道路交通法上、歩道または路側帯ではなく車道を走行する必要があります。
- 斜め横断はしないでください。横断に時間がかかるため、他の通行のさまたげとなることがあります。
- 交差点では必ず一時停止して、左右の安全を確認してから、ゆっくり発進してください。
- 走行中は携帯電話やスマートフォンなどを使用しないでください。イヤフォンやヘッドフォンなどを装着して、周囲の音が聞き取りづらい状況で走行しないでください。
- 夜間に走行する場合は、ライトを点灯してください。走行前に、バッテリーの残容量が十分であることを確認してください。バッテリーの残容量がなくなるとライトが消灯します。ライトが消灯した状態で夜間の走行は避けてください。
- 夜間走行は視界が悪くなり周囲の状況が見にくく、歩行者や障害物などの発見が遅れます。危険が多くなることを自覚し、ライトを点灯し、十分な安全を確認して走行してください。
- 夜間走行では危険を感じたら必ずブレーキをかけて減速し、安全を確認して走行してください。
- 夕暮れ時は周囲が見えにくくなるので、早めにライトを点灯し、注意して走行してください。
- 夜間走行時は、操作者の存在を周囲に認識してもらうために、高視認性安全服（反射服）、または夜光反射材の着用を推奨します。
- 走行前にリフレクターが破損したり、汚れていないか確認してください。汚れている場合は、清掃してください。破損している場合は、新品に交換してください。交換については、お買い上げの販売店、または当社営業所にお問い合わせください。
- 次のような場所では、接触、衝突、転倒などのおそれがあります。走行を避けるか、補助者に同行してもらうなどして、十分な安全確認や脱輪予防をしてください。
 - 幅の広い道路の横断
 - 防止柵のない側溝や路肩付近

⚠ 警告

- 次のような場所や状況下での走行は避けてください。転倒や故障の原因となります。
 - 急な坂道
 - 大きな溝や段差
 - ぬかるみ、でこぼこ道、雪道、凍結路面、砂地、砂利道などの悪路
 - 下り坂での後進
 - 傾斜面の横断
 - 降雨、濃霧、強風、降雪等の悪天候
- 次のような場所や状況下では、できるだけ走行を避けてください。やむを得ず走行する場合は、十分な安全確認や脱輪予防をしてください。
 - 混雑している場所
 - 交通量の多い道路
 - 狭い道
- 高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている場所での走行は避けてください。

●踏切を横断する際の注意

- 踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けてください。
- 踏切を横断する前に、バッテリーの残容量が十分か確認してください。
- 横断の途中で遮断機が降り始めた場合に渡りきれない可能性があるため、横断に時間がかかる踏切は迂回してください。
- 警報機が鳴り始めているときや、遮断機が降り始めているときには、踏切内に入らないでください。
- できるだけ補助者に同行してもらってください。
- 踏切の手前で一時停止して、左右の安全を確認してから横断してください。
- 線路の溝にはまらないように、線路に対して直角に横断して、タイヤを取られないように注意してください。
- 脱輪するおそれがあるため、踏切の端は走行しないでください。
- 踏切内で動かなくなった場合は、補助者や付近の人の協力を得て、手押しで移動してください。
- 万が一、踏切内からの脱出が困難な場合は、踏切の非常ボタンを押してください。

●本機の操作

- 操作するときは、本機の後方に立って、ハンドルをしっかり握って操作してください。

●作業中

- 後進で使用するときは、後方の視界や、足元などに十分注意してください。滑ったり、つまずいたりする恐れがあります。
- 視界が悪いときは、障害物などにぶつかって事故の恐れがありますので、本機を使用しないでください。
- 軟弱な路面で使用しないでください。路肩が崩れて、転倒や転落の恐れがあります。
- わだちや凹凸のある路面を走行する場合は、減速して十分に注意して走行してください。
- 転倒を避けるために、平地または 12° 以下の傾斜地で使用してください。

⚠ 警告

- ・ 使用中に異常を見つけたら、平坦な場所で停止してください。点検を行う前に、ブレーキをロックして、電源を切ってください。
- ・ 本機を操作する前に、荷台のロックが完全に引き下ろされて、荷台がロックされていることを確認してください。ロックが不完全な場合、降坂時に荷台が傾いて荷物が落下して、事故の恐れがあります。
- ・ 作業中はコードが荷物や障害物に引っかからないように注意してください。

● 傾斜地での操作

- ・ 傾斜地では横断や斜め走行などをしないでください。転倒の恐れがあります。
- ・ 下り坂での走行はブレーキで減速させ、操作には十分注意してください。
- ・ 発進および停止には十分注意してください。
- ・ 傾斜地では荷物の安定性が下がりますので、ロープなどで荷物をしっかりと固定してください。
- ・ 路面の状態によって本機の安定性が下がりますので、積載量は最低限に抑えてください。
- ・ 傾斜地では前方の視界が悪くなりますので、積載する荷物の高さは最低限に抑えてください。
- ・ 傾斜地で本機を停車しないでください。停車するときは、平坦な場所でブレーキをロックして、電源を切ってください。
- ・ 傾斜地で方向転換や変速はしないでください。転倒や転落の恐れがあります。
- ・ 上り坂ではスイッチレバーを放さないでください。本機が後進する恐れがあります。
- ・ 坂道での走行は、事前にバッテリーの残容量が十分であることを確認してください。バッテリーの残容量が少ない場合は、走行する前に充電されたバッテリーに切り替えるか、バッテリーを充電してください。

● 荷物の積載

- ・ 絶対に過積載はしないでください。積載方法および積載量を守って使用してください。
- ・ 荷台に積載した荷物は、荷崩れしないようにロープなどでしっかりと固定してください。
- ・ 荷台からはみ出して荷物を積載しないでください。荷物が落下したり、荷物が接触して、運転に支障をきたしたり、事故の恐れがあります。
- ・ 荷台に荷物を高く積載しないでください。前方の視界をさまたげるため、運転に支障をきたしたり、事故の恐れがあります。また、重心が高くなり、転倒の恐れがあります。
- ・ 荷物は荷台に均等に積載してください。かたよって荷物を積載すると、不安定になるため、運転に支障をきたしたり、事故の恐れがあります。また、転倒の恐れがあります。
- ・ 荷台に荷物を積載する前、または積載して本機を操作する前に、荷台のロックレバーが完全に引き下ろされてロックされていることを確認してください。
- ・ 重心が低くなるように、重い荷物を下に積んでください。
- ・ 柔らかい地面、またはでこぼこの地面を走行するときは、速度を下げてください。

⚠ 警告

- 急な傾斜地では荷台のガードを広げて使用しないでください。軽量の荷物を積載するときだけに、荷台のガードを広げてください。
- 荷台のガードを広げる場合は、左右の長さを同じにして、荷物は前後左右均等に積載してください。ガードは限度以上に広げないでください。ガードがはずれて荷物が落下したり荷崩れを起こし、事故やけがの恐れがあります。
- 荷物の積み降ろしは平地で行ってください。
- 荷物を積載しているときに荷台を持ち上げて傾斜させる場合は、平坦で安定した場所で、しっかりと荷台を保持して、無理のない姿勢で行ってください。
- [事業者の方へ]
本機は労働安全衛生法に規定される構内運搬車に該当します。
構内で使用する場合は、労働安全衛生規則 151 条の 59 に基づく安全装置（警告音、尾灯）が必要になるなど、労働安全衛生法に準拠した対応が必要です。
- 転倒、落下により危険が生じるもの（ガソリン、薬品、高圧ガスなど）を運搬しないでください。転倒、落下した場合、事故につながる恐れがあります。

●本機のトラックなどへの積み込み

- 12°以下のスロープなどを使って、脱輪しないよう低速で積み込んでください。

●点検および整備

- 点検またはメンテナンスを行うときは、本機を平坦な場所で停止させて、ブレーキレバーをロックしてください。

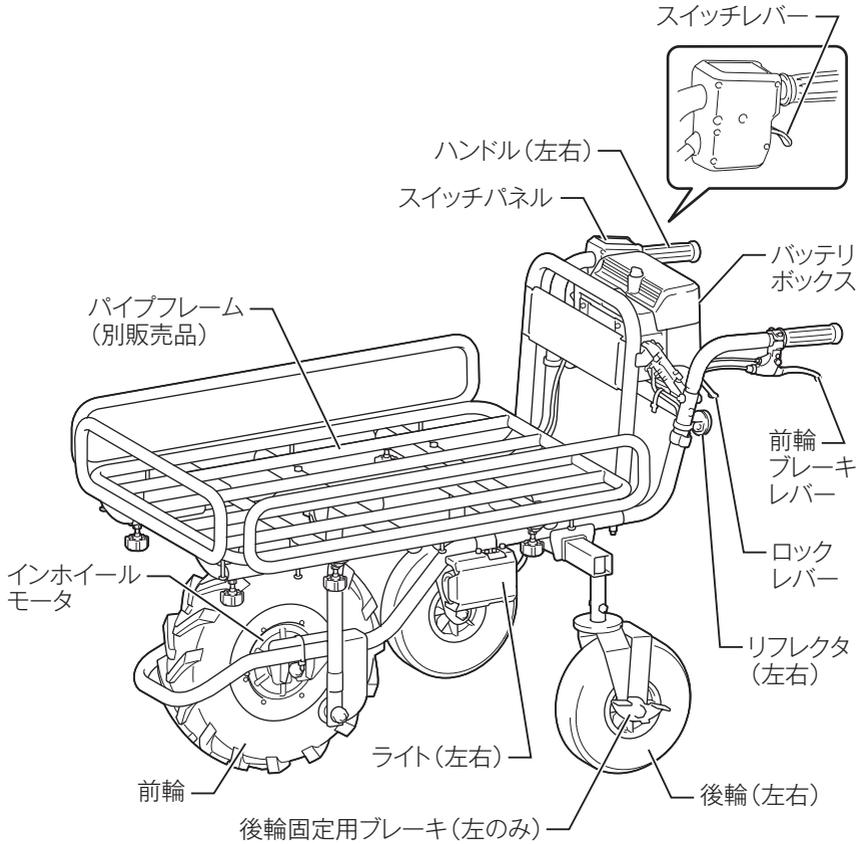
注

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

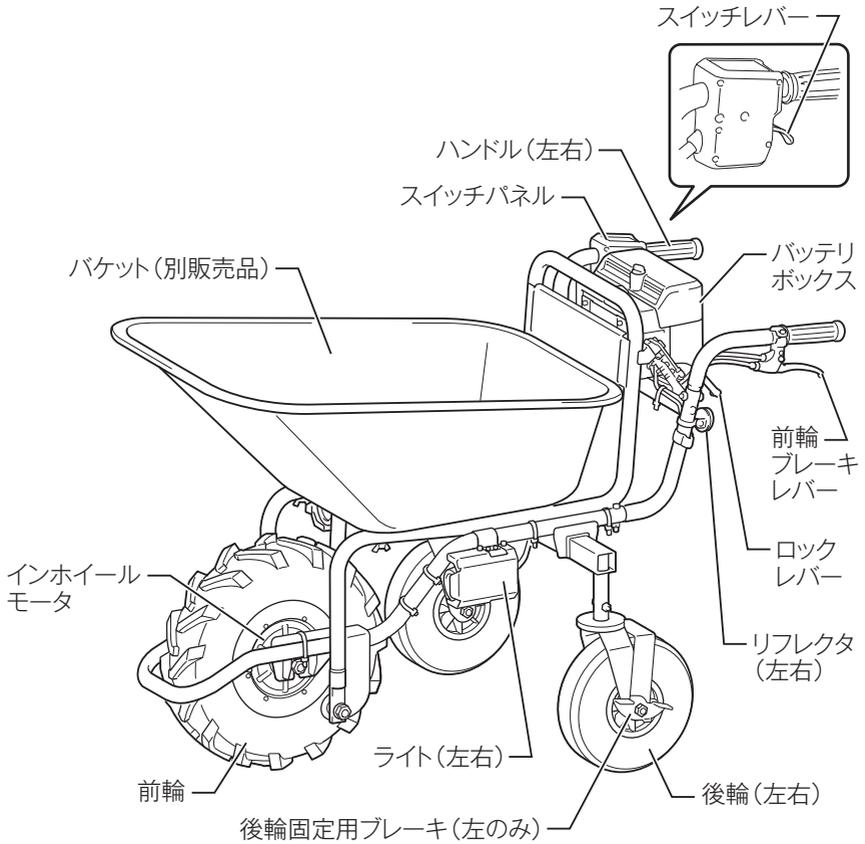
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm ²	30 m

各部の名称 (パイプフレーム仕様)

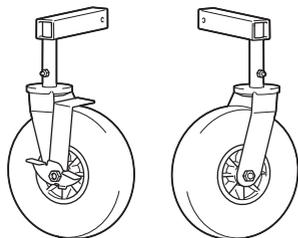


各部の名称 (バケット仕様)

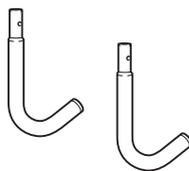


梱包部品

・後輪 2本

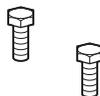


・フット 2本



後輪取り付け用

・六角ボルト(短い)2本



・ワッシャ 2枚

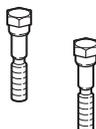


・バネ座金 2枚



ハンドル取り付け用

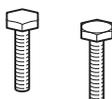
・六角ボルト(段付き)2本



・六角ボルト(短い)2本



・六角ボルト(長い)2本



・六角ロックナット 2個



・コードクランプ (コード結束用) 2個



・スパナ13 2本



・キー 1本



キーを本機からはずしておく、本機が作動しないようにすることができます。作業時はキーを本機に取り付けた状態にしてください。(キーを抜いた状態でも、バッテリー残容量の表示やライトの点灯をすることができます。)

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ パイプフレームセット品
部品番号：A-65470
- ・ バケットセット品
部品番号：A-65486
- ・ 補助輪アタッチメント
部品番号：A-68862
- ・ バッテリー BL1815N（容量 1.5 Ah）
部品番号：A-60311
- ・ バッテリー BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715
- ・ バッテリー BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442
- ・ バッテリー BL1850B（容量 5.0 Ah）
部品番号：A-59900
- ・ バッテリー BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464

ご使用前の準備

本機の組み立て方

⚠ 警告

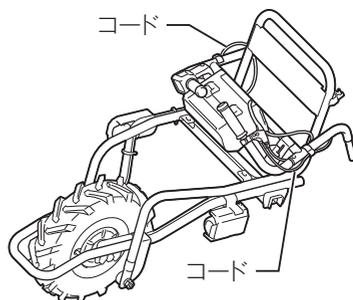
本機を組み立てる前に、バッテリーおよびキーを差し込まないでください。

- ・ 本機にバッテリーおよびキーを差し込んだ状態で組み付け作業を行うと、本機が作動する恐れがあり、けがの原因になります。

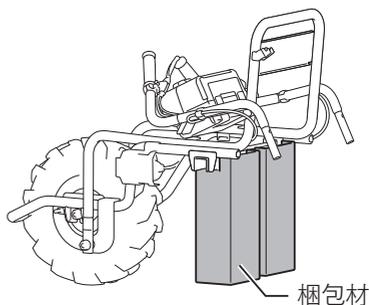
1. 本機を箱から取り出します。

注

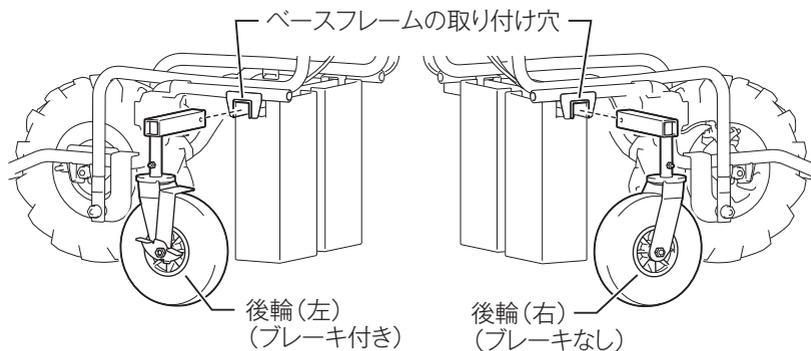
- ・ 本機とハンドルは必ず一緒に取り出し、コードを巻き込んだり、コードに負荷をかけないでください。



2. 梱包材を利用して、本機の後部を下から支えます。

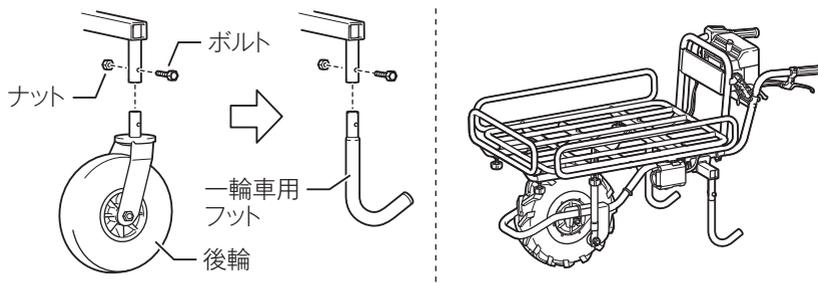


3. 後輪（左右）をベースフレームの取り付け穴に差し込みます。

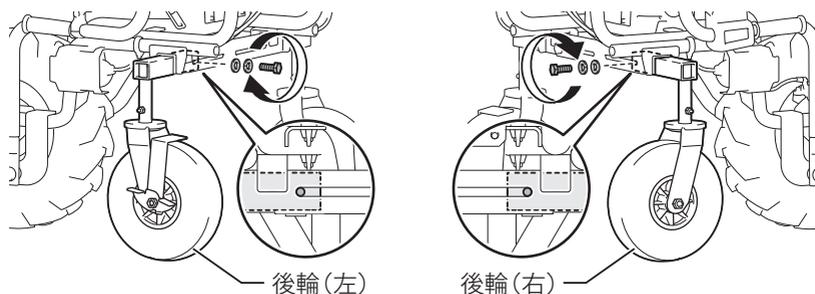
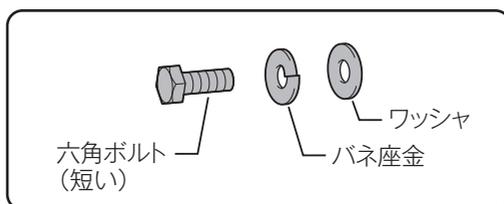


ご使用前の準備

後輪のボルトとナットをはずし、一輪車用のフットと交換することもできます。



4. 六角ボルト（短い）にバネ座金→ワッシャの順で取り付け、付属のスパナ 13 で締め付けて後輪（左右）を固定します。

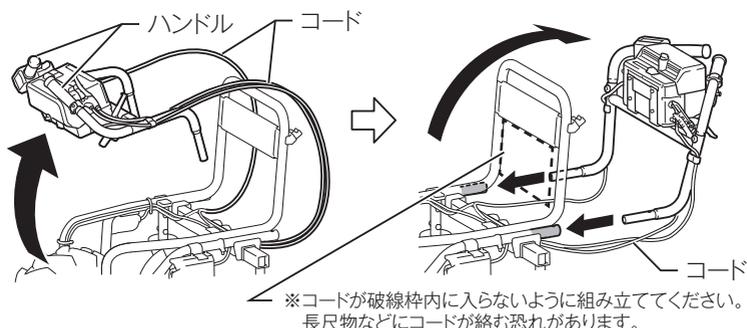


注

- ・ 後輪の取り付けには、必ず短い六角ボルトを使用してください。
- ・ 後輪は、左右の同じスライド位置で固定してください。

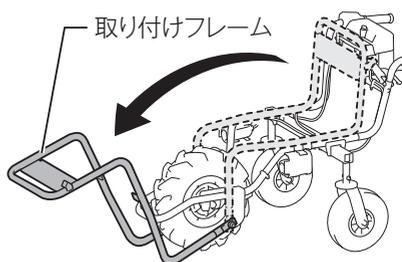
ご使用前の準備

5. ハンドルを持ち上げて、本機の後方からベースフレームに差し込みます。

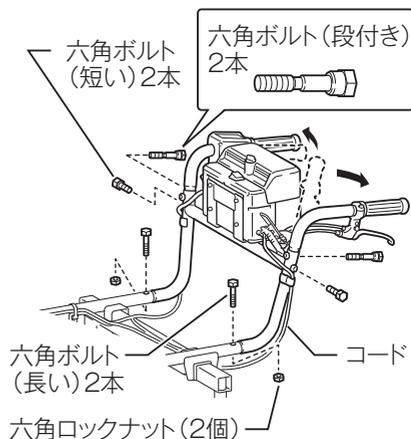


注

- ・ ハンドルは両手で持ち上げてください。
 - ・ コードを巻き込んだり、負荷をかけないでください。
6. 取り付けフレームを前方に倒します。



7. 手順5で差し込んだハンドルを固定します。
8. 付属の六角ボルト（長い）2本と六角ロックナット（2個）を付属のスパナ13で締め付けます。
9. 折りたたまれたハンドルの取っ手を広げ、付属のスパナ13で六角ボルト（段付き）2本で締め付けます。
10. 付属のスパナ13で六角ボルト（短い）2本を両側から締め付けます。

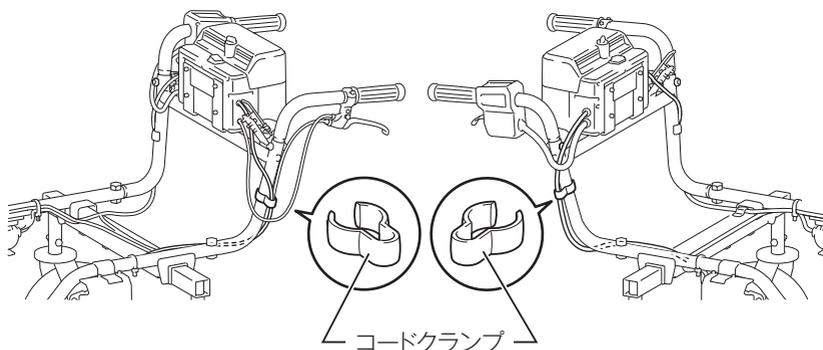


注

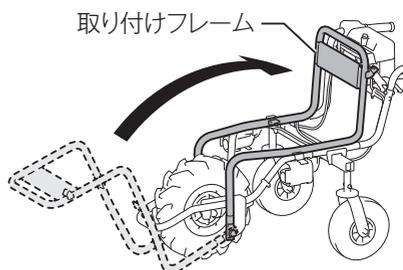
- ・ 六角ボルト（短い）は強く締め付けすぎると、ハンドルが変形する恐れがあります。ハンドルがガタつき無く固定できる程度で締め付けてください。
- ・ 六角ボルトでコードを挟みこまないでください。

ご使用前の準備

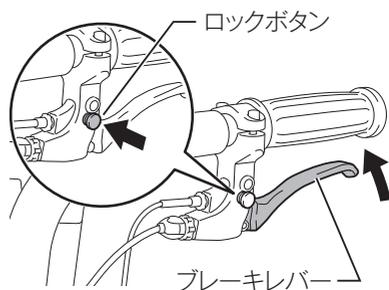
11.コードクランプでコード類を束ねて左右のパイプに固定します。



12.取り付けフレームを戻します。

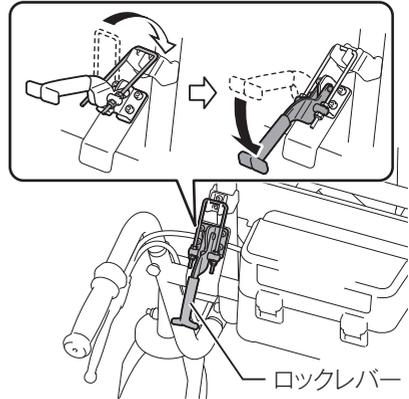


13.ブレーキレバーを引きながら、ロックボタンを押し込んでブレーキをロックします。



ご使用前の準備

14. 取り付けフレーム固定用のロックレバーを押し下げて、取り付けフレームをベースフレームに固定します。

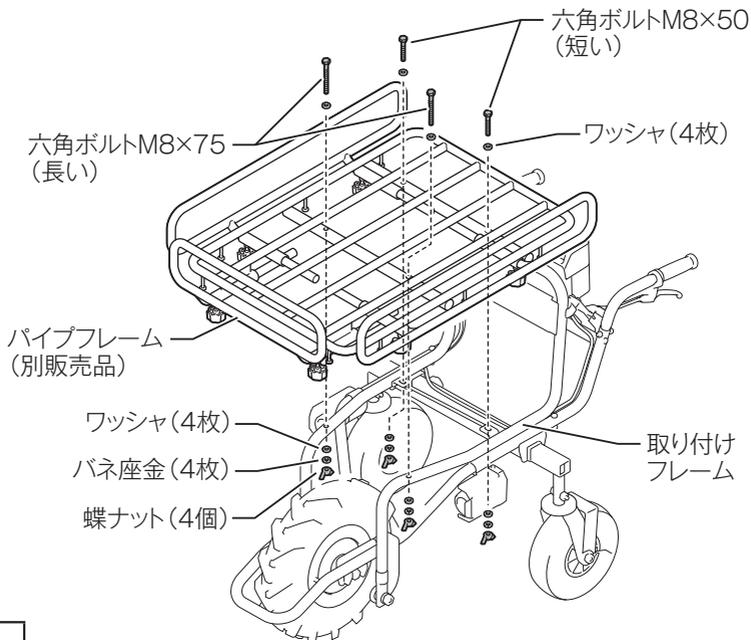


注

- ロックレバーが確実にロックされていることを確認してください。
- ロックレバーにコードを挟まないようにしてください。

パイプフレーム（別販売品）の取り付け方

1. 取り付けフレームにパイプフレーム（別販売品）を図の向きで載せ、ワッシャ（4枚）と六角ボルト（4本）を上から差し込みます。
2. 下からワッシャ（4枚）、バネ座金（4枚）と蝶ナット（4個）で締め付けます。



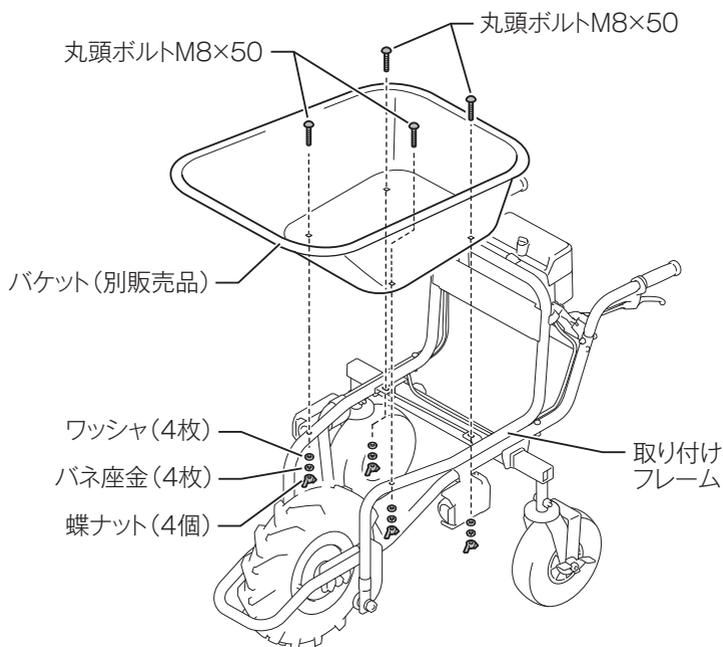
注

- パイプフレーム取り付け用の六角ボルトは、2種類の長さがあります。必ず、長い六角ボルト M8 × 75 を前方に使用してください。

ご使用前の準備

バケット（別販売品）の取り付け方

1. 取り付けフレームにバケット（別販売品）を図の向きで載せ、丸頭ボルト（4本）を上から差し込みます。
2. 下からワッシャ（4枚）、バネ座金（4枚）と蝶ナット（4個）で締め付けます。



ご使用前の準備

バッテリーとキーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実にバッテリーボックスに差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本機のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

高温のバッテリーを使用しないでください。

- ・ 高温のバッテリーを使用すると本機が起動しない、または本機が急停止してけがの原因になる恐れがあります。

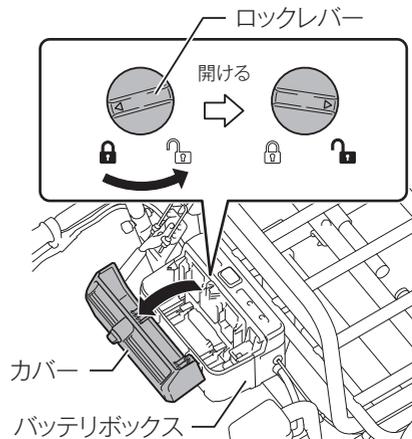
⚠ 注意

カバーを取りはずした状態で使用しないでください。

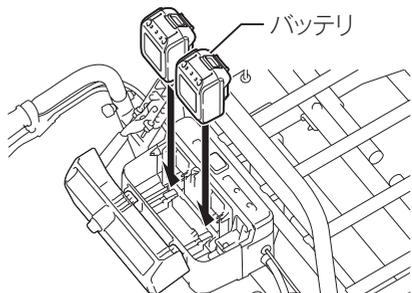
- ・ ほこりや水などが入り、本機およびバッテリーが故障する恐れがあります。

取り付け方

1. ロックレバーを回して、バッテリーボックスのカバーを開きます。

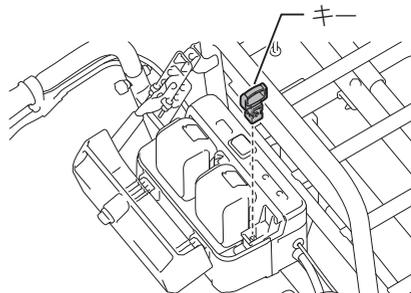


2. バッテリーを図のような向きでカチッと音がするまで差し込みます。

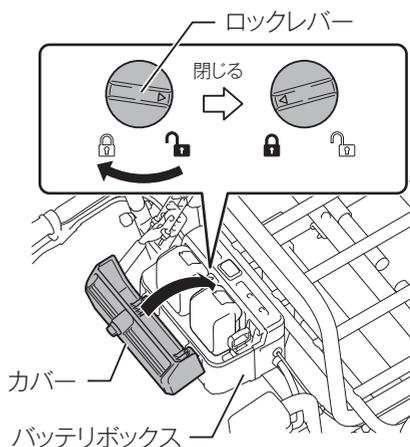


ご使用前の準備

3. キーを図の位置の奥まで差し込みます。
 - ・ キーの差し込みが不十分のとき、本機は作動しません。

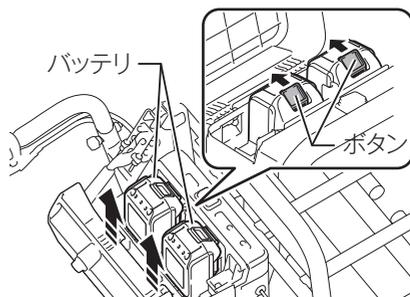


4. バッテリーボックスのカバーを閉じて、ロックレバーを回します。



取りはずし方

1. ロックレバーを回して、バッテリーボックスのカバーを開きます。
2. バッテリーのボタンを押しながら、図のような向きでバッテリーを抜きます。



3. キーをはずします。
はずしたキーは子供の手の届かない所に保管してください。
4. バッテリーボックスのカバーを閉じて、ロックレバーを回します。

使い方

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 運搬車の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ リチウムイオンバッテリーは、長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、充電して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

使い方

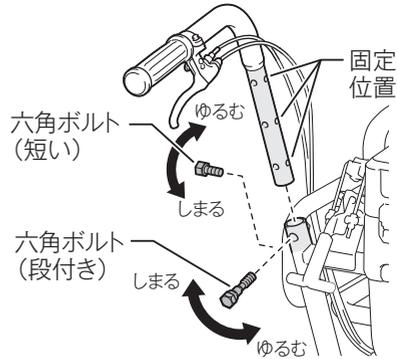
⚠ 注意

各調整をする場合は、必ずバッテリーボックスからバッテリーを抜いてください。

- ・ 事故の原因になります。

ハンドルの高さ調整

- ・ 六角ボルト（短い）と六角ボルト（段付き）を付属のスパナ 13 ではずし、ハンドルの高さを調整します。固定位置は 3 段階に調整することができます。
- ・ 調整後は、六角ボルト（段付き）→六角ボルト（短い）の順で付属のスパナ 13 で締め付けて固定します。
- ・ 左右ともに調整します。

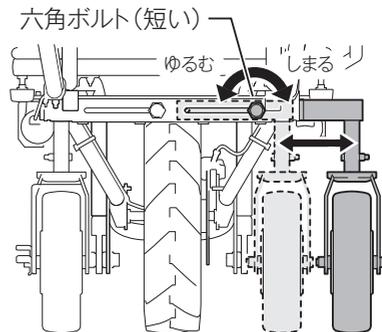


注

- ・ 六角ボルト（短い）は強く締め付けすぎると、ハンドルが変形する恐れがあります。ハンドルがガタつき無く固定できる程度で締め付けてください。
- ・ 左右のハンドルは、必ず同じ高さにしてください。
- ・ 六角ボルトでコードを挟みこまないでください。

後輪の幅調整

- ・ 六角ボルト（短い）を付属のスパナ 13 でゆるめて、後輪をスライドさせます。
- ・ 調整後は、六角ボルト（短い）を付属のスパナ 13 で締め付けて固定します。
- ・ 左右ともに調整します。



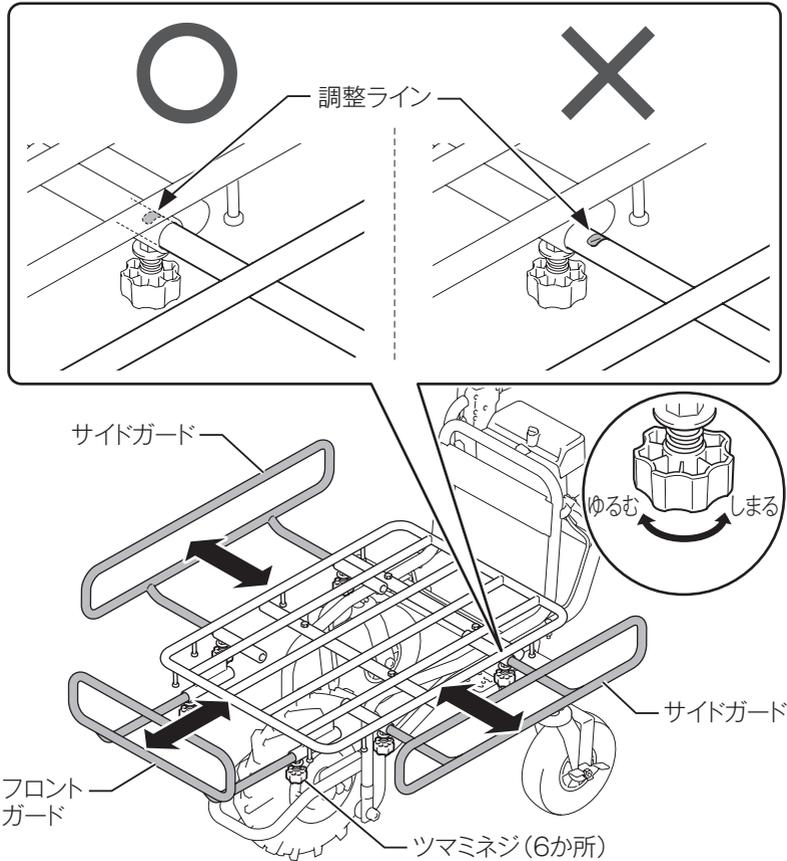
注

- ・ 調整するときは、荷台からすべての荷物を降ろしてください。
- ・ 左右の後輪幅は、必ず同じ幅にしてください。
- ・ 本機を安定させるため、後輪は最大幅まで広げて使用してください。
- ・ 狭い通路など、後輪の幅を狭くして使用する場合の積載量は最低限に抑えてください。

使い方

パイプフレームの幅調整

- ・ ツマミネジ (6 か所) をゆるめて、フロントとサイドのガードをスライドさせます。
- ・ 調整後は、ツマミネジを締め付けて固定します。



注

- ・ 調整ラインを越えてガードを広げないでください。
- ・ ツマミネジを締め付けた後に、ガードがしっかりと固定されていることを確認してください。

使い方

基本操作

⚠ 注意

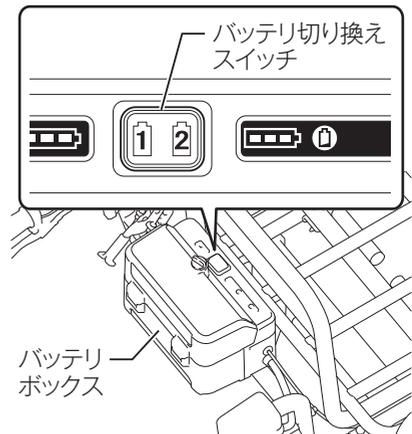
バッテリーボックスにキーを差し込まないと、本機は作動しません。この状態でスイッチレバーを操作すると、「ピ、ピ、ピ・・・ピー」とブザーが鳴ります。スイッチレバーを放し、ブレーキレバーを引くとブザーは停止します。

キーを抜いた状態でも、バッテリー残容量の表示やライトの点灯をすることができます。

本機動作中にバッテリー切り替えスイッチを操作しないでください。故障の原因となります。本機停止中に操作してください。

バッテリーの切り換え方

- ・ 本機の作動に必要なバッテリーは 1 個ですが、バッテリーボックス内に 2 個までのバッテリーを装着できます。
- ・ バッテリーの切り換えは、バッテリーボックス上のバッテリー切り換えスイッチで行います。
- ・ 「1」を押すと左側、「2」を押すと右側のバッテリーが選択されます。



注

- ・ バッテリーボックス内のバッテリーが 1 個だけの場合、選ぶバッテリーを間違えると電源が入りません。

例：バッテリーボックスの右側にバッテリーを装着しているのに、バッテリー切り換えスイッチの「1」を押す。→ 電源が入らない。

使い方

電源の入れ方

- ・ 電源ボタンを長押しすると電源が入ります。
- ・ 電源を入れると、前進で低速の設定になります。
- ・ 電源が入った状態で、電源ボタンを長押しすると電源が切れます。

注

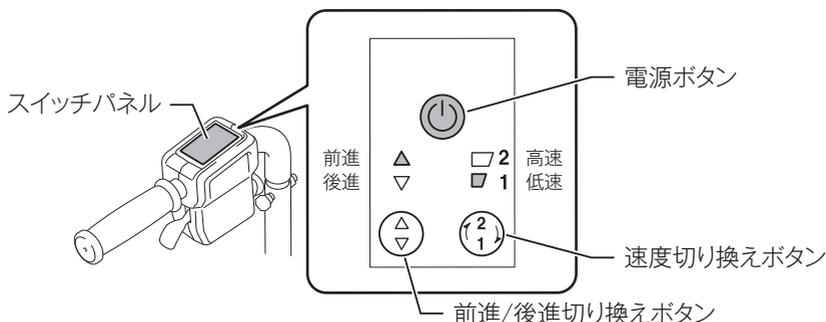
- ・ 約 10 分間、スイッチ類を操作せずに本機が動いていない場合、電源は自動的に切れます。

前進 / 後進の切り換え方

- ・ 前進 / 後進切り換えボタンを押すごとに、前進 / 後進が切り替わります。
- ・ 本機が動いているとき（モータ作動中）は、前進 / 後進の切り換えはできません。
- ・ 後進時は、「ピー、ピー、・・・」とブザーが鳴ります。

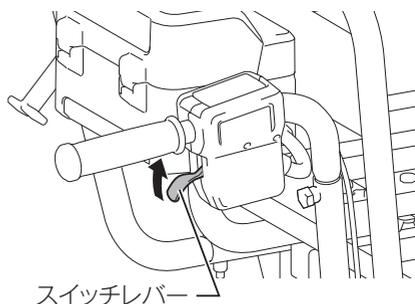
速度の切り換え方

- ・ 速度切り換えボタンを押すごとに、低速 / 高速が切り替わります。
- ・ 後進時は低速のみです。



スイッチレバーの操作

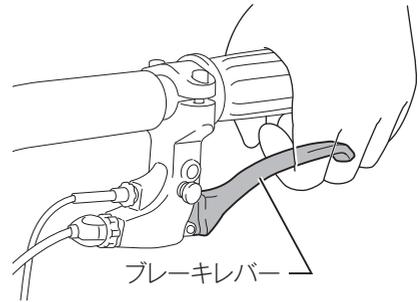
- ・ スイッチレバーを引くと、本機が前進 / 後進します。
- ・ スイッチレバーの引き具合で、設定された速度の範囲内で速度調整をすることができます。



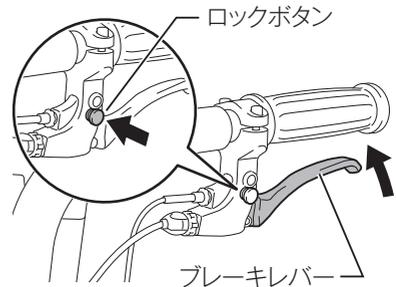
使い方

ブレーキレバーの操作

- ・ 本機を止めるときは、スイッチレバーを放してブレーキレバーを引きます。



- ・ ブレーキレバーを引ながらロックボタンを押すとブレーキレバーがロックします。
- ・ ロックされたまま、ブレーキレバーを引くとロックが解除されます。

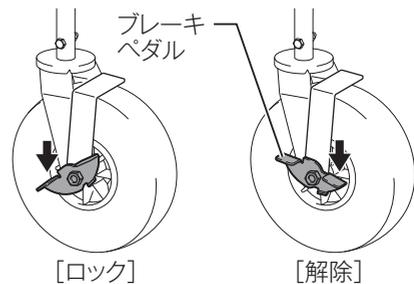


注

- ・ ブレーキレバーを引いた状態では、モーターが起動しません。

後輪ブレーキの操作

- ・ 左側の後輪にはペダル式のブレーキがあります。
- ・ 本機の前方に踏み込むとロックされ、後方に踏み込むと解除されます。



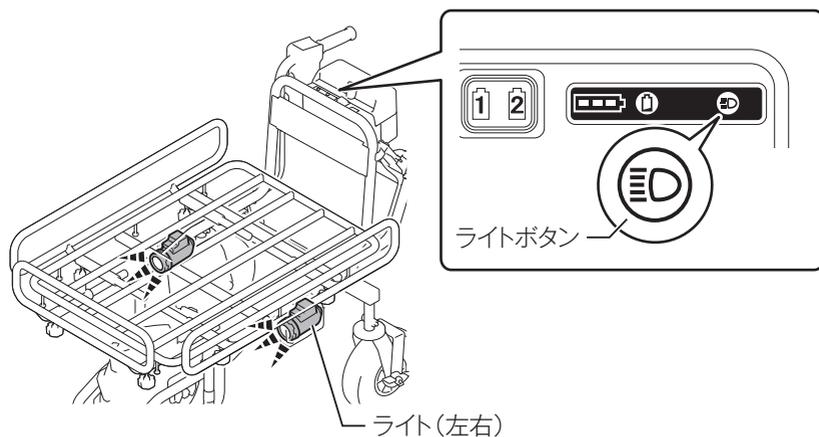
注

- ・ 走行時は後輪ブレーキを解除してください。
後輪ブレーキは後輪を動かなくするための装置です。後輪ブレーキをかけたままでも前輪の駆動により、前進する場合があります。

使い方

ライトの操作

- ・ 取り付けフレームの左右にライトがあります。
- ・ ライトボタンを押すごとに、点灯 / 消灯に切り替わります。



注

- ・ 約 10 分間、スイッチ類を操作せずに本機が動いていない場合、ライトは消灯します。
- ・ 電源を切るとライトは消灯します。

使い方

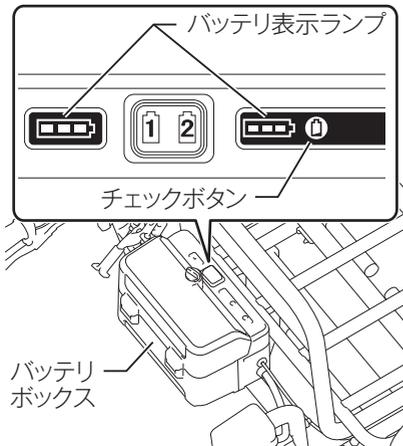
各種機能

バッテリー残容量表示機能

⚠ 注意

バッテリーの残容量を確認するときは、本機を停止してから確認してください。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプがそれぞれのバッテリー残容量を表示します。(1 は左側、2 は右側のバッテリーを表します。)
- ・ バッテリーの消費量は気候条件や路面状況などによって異なります。
- ・ バッテリー表示ランプは約 3 秒間点灯した後に消灯します。



ランプの状態	バッテリー残容量
■:点灯 □:消灯	
	50% - 100%
	20% - 50%
	0% - 20%
	バッテリー未装着

使い方

本機およびバッテリー保護機能

⚠ 警告

バッテリーの容量がなくなってくると、「ピ、ピ、ピ・・・」とブザーでお知らせします。そのまま作業を続けた場合、「ピーーーー」とブザーが鳴り、本機は自動停止します。

作業中に「ピ、ピ、ピ・・・」とブザーが鳴り始めたら、すみやかにブレーキレバーを引き、ロックボタンを押し込んでブレーキをロックしてください。その後、充電されたバッテリーに切り替えるか、バッテリーを充電してください。

- ・ バッテリーの容量がなくなると本機が急停止し、けがの原因になる可能性があります。

高温のバッテリーを使用しないでください。「ピ、ピ、ピ・・・」とブザーでお知らせする前に、本機は自動停止します。

- ・ 高温のバッテリーを使用すると本機が急停止し、けがの原因になる恐れがあります。

- ・ 本機、およびバッテリーの寿命を延ばすために、保護機能を備えています。作業時に、本機またはバッテリーが次の状態になると自動停止します。自動停止する前に「ピ、ピ、ピ・・・」とブザーでお知らせします。また、ブザーでお知らせ中はバッテリー表示ランプ、スイッチパネル上のLEDが点滅します。

発熱保護機能

- ・ 本機が熱くなると、本機は自動停止します。本機が熱くなっている場合は、再始動前に本機を十分に冷ましてください。
- ・ 高温の環境下では発熱保護機能が働きやすくなります。

過放電保護機能

- ・ バッテリーの容量が少なくなると、本機は自動停止します。バッテリーをはずして充電してください。

使い方

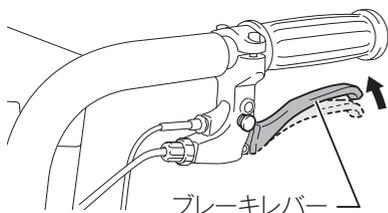
過負荷保護機能

- 作業時に過負荷を感知すると、本機は自動停止します。積載量を減らすなど、過負荷になる要因を取り除いてください。

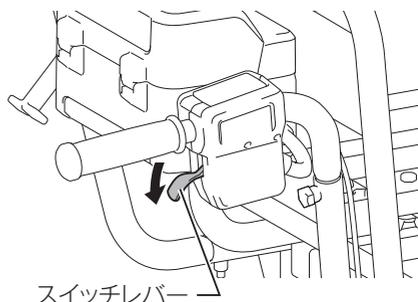
注

- ブザーが「ピ、ピ、ピ・・・」と鳴り始めてもスイッチレバーを引き続けると「ピーーーー」とブザーが鳴り、本機は自動停止します。自動停止後はブザーが鳴り続け、サポートブレーキ（電気ブレーキ）機能が働きます。ブレーキレバーを引き、スイッチレバーを放すと、ブザーとサポートブレーキ機能が解除されます。

左手側



右手側



- このとき、バッテリー表示ランプの点滅方法を確認することでバッテリー保護機能のいずれかが働いているのか見分けることができます。

- 発熱保護機能の場合

■：点灯 ▼：点滅 □：消灯



- 過放電保護機能の場合



- 過負荷保護機能の場合



- サポートブレーキ機能を解除せずに、運搬車を無理に押さないでください。
- 坂道などで走行中にブザーが鳴った場合、または本機が自動停止した場合は、本機を安全な場所に移動して、ブレーキをロックしてから、充電されたバッテリーに切り替えるか、バッテリーを充電してください。積載量が多い場合に、坂道などでブザーが鳴ったとき、または本機が自動停止したときは、無理に本機を移動せず、ブレーキをロックして、安全に十分に注意して充電されたバッテリーに切り替えてから、本機を安全な場所に移動してください。本機の使用を再開する前に、積載する荷物を減らしてください。

使い方

⚠ 警告

積載前は、電源が入っていないこと、ブレーキがロックされていることを確認してください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。

積載前は、取り付けフレームがロックされていることを確認してください。

- ・ パイプフレームが安定せず荷崩れや落下など、けがの原因になります。

荷物はパイプフレーム（バケット）の内側に納めてください。

- ・ はみ出した荷物が荷崩れや落下など、けがの原因になります。

荷物は目線より低く積載してください。

- ・ 高く積載された荷物が視界をさまたげるため危険です。
- ・ 高く積載された荷物により重心が高くなるため、転倒などの原因になります。

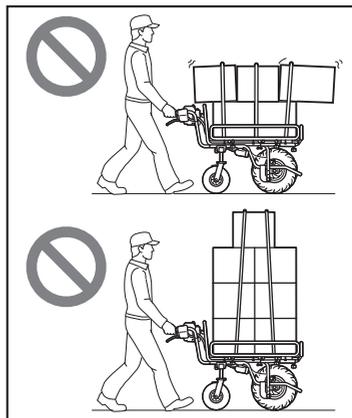
荷物は荷台に均等になるように積載してください。

荷物は荷台のハンドル側から順に積載してください。

- ・ フロントタイヤ側から積載すると、転倒の原因となります。

荷物を降ろすときは、フロントタイヤ側から順に降ろしてください。

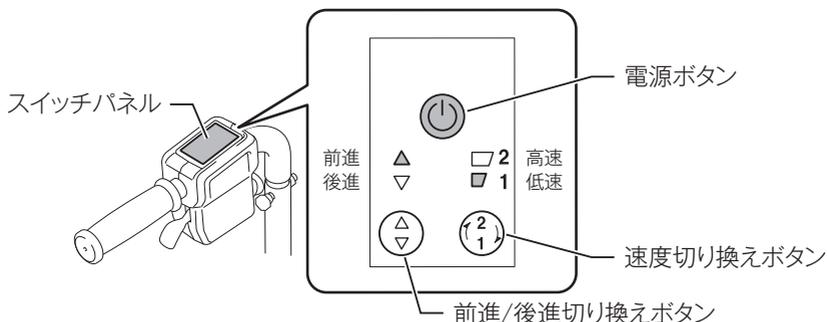
- ・ ハンドル側から荷物を降ろすと、転倒の原因となります。



運搬方法

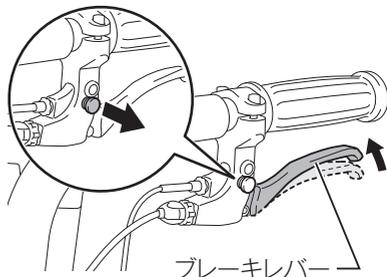
- ・ 本機は、バッテリーを使用して前輪を駆動させます。運搬作業を補助する用途でお使いください。

1. 上記の注意事項をよくお読みになって、荷物を積載します。
2. バッテリー切り替えスイッチで使用するバッテリーを選択します。
3. 電源ボタンを長押しして電源を入れます。



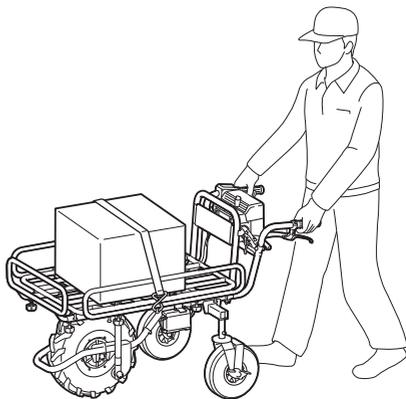
使い方

- ブレーキレバーを引いて、ブレーキレバーのロックを解除します。

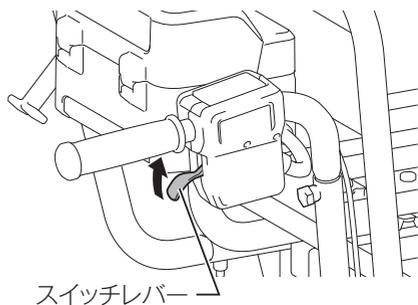


注

- 後輪ブレーキがかかっている場合は、後輪ブレーキを解除してください。(32 ページ参照)
- ハンドルを両手でしっかりと握ります。



- スイッチレバーを引きます。



使い方

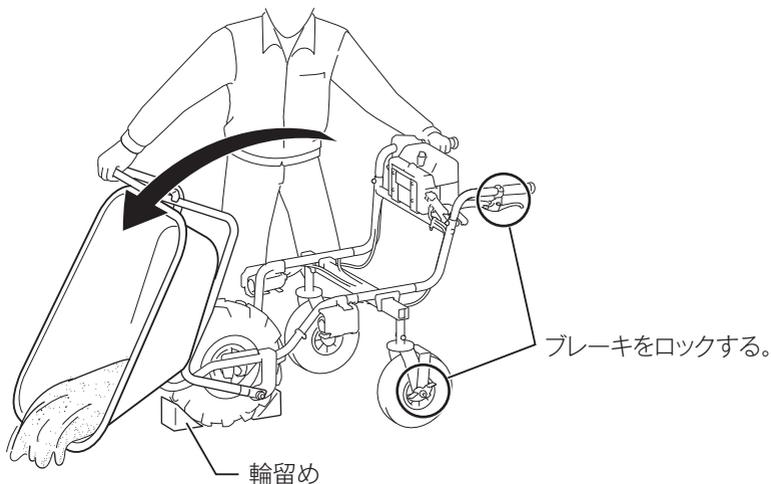
荷台の持ち上げ方法

⚠ 警告

荷台を持ち上げる際は、平たんで安定した場所で行なってください。

・ 不安定な場所での作業は、事故やけがの原因になります。

- ・ 本機の荷台を持ち上げて傾斜させ、積載物を放出することができます。
1. 本機を止めて、ブレーキをロックします。
 2. 取り付けフレーム固定用のロックレバーを解除します。(前輪に輪留めをすることで、より確実に本機の固定ができます。)
 3. 本機の側面から片手でハンドルを持ち、もう一方の手で取り付けフレームを持ち上げて、荷台を傾斜させます。



注

- ・ しっかりとフレームとハンドルを保持して、無理のない姿勢で作業してください。
- ・ 荷台に積載する荷物は最低限に抑えてください。
- ・ 積載量が多い場合は、無理に荷台を持ち上げないでください。積載量を減らしてから、荷台を持ち上げてください。

保管について

保管方法

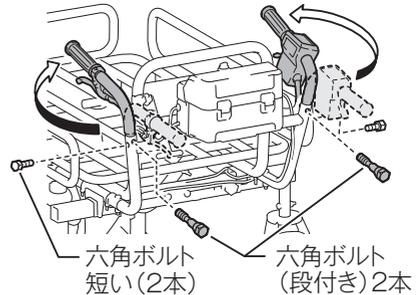
⚠ 警告

保管時は、必ずバッテリーとキーを抜き、バッテリーカバーを閉じてください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。

・ 保管をするとき、ハンドルをたたむことができます。

1. 六角ボルト（短い）と六角ボルト（段付き）を付属のスパナ 13 ではなく、ハンドルを内側に回します。
2. 六角ボルト（段付き）→六角ボルト（短い）の順で付属のスパナ 13 で締め付け、しっかりと固定します。



注

- ・ 保管時や本機から離れる場合、バッテリーとキーを抜いてください。
- ・ 六角ボルトでコードを挟みこまないでください。

日常の保管

日常の保管および短期間の保管をする前に、下記の作業を行ってください。

- ・ きれいに清掃してください。
- ・ 安定した水平な場所に保管してください。
- ・ 保管はできる限り屋内にしてください。（屋根があり、雨の当たらない場所）
- ・ 荷台からすべての荷物を降ろして保管してください。

長期の保管

長い間（約 30 日以上）使用しない場合は、保管する前に下記の作業を行ってください。

- ・ きれいに清掃してください。
- ・ 不具合箇所は整備してください。
- ・ 各部のボルト、ナットのゆるみを点検し、ゆるんでいれば締めてください。
- ・ 保管場所は、周囲に燃えやすいものがなく、雨がかからず湿度の少ない場所を選定しシートをかけるようにしてください。
- ・ 取りはずしたバッテリーにはバッテリーカバーをかぶせてください。

長期保管後の使用

長期保管後の再使用時は、特に次の内容に注意してください。

- ・ 作業前点検を確実に行ってください。
- ・ 必ずバッテリーを充電してから使用してください。

保守・点検について

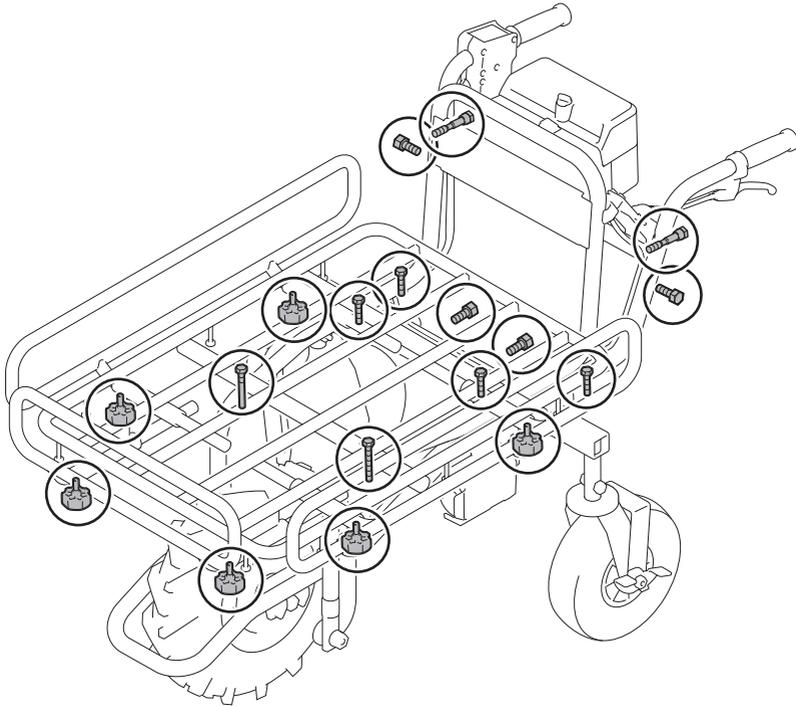
⚠ 警告

点検・整備の際には、必ずバッテリーとキーを抜いてください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。

ご使用前の点検

- ・ ご使用前に、次の項目をチェックしてください。
1. すべてのボルト、ナット、ツマミネジがしっかりと締まっていることを確認してください。



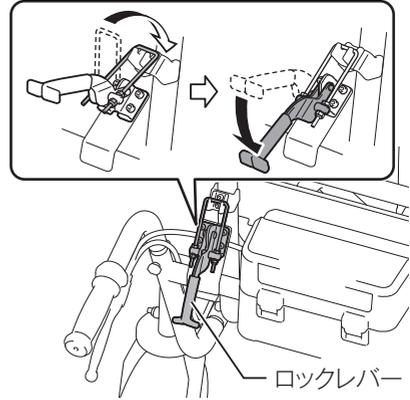
2. パイプフレーム（バケット）にガタツキがないことを確認してください。
3. ブレーキが正常に作動することを確認してください。ブレーキの効きが悪い場合は、ブレーキを調整してください。

注

- ・ ブレーキレバーをいっぱいに引いたとき、レバーがハンドルに接触する場合はブレーキが機能していません。ブレーキの調整（43 ページ参照）をするかお買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

保守・点検について

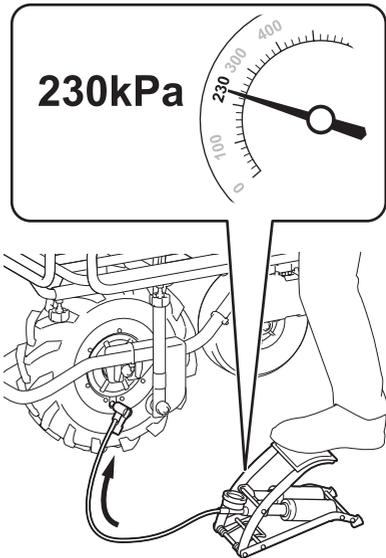
4. 取り付けフレーム固定用のロックレバーが取り付けフレームをしっかりと固定していることを確認します。



5. 前輪に損傷がないこと、またパンクしていないことを確認します。
空気が抜けているようであれば、空気を注入してください。
推奨空気圧：230 kPa

注

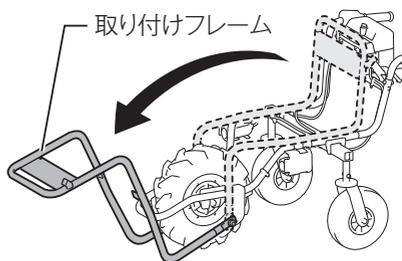
- ・ 前輪に不具合がある場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理・交換をお申し付けください。
 - ・ 市販の空気入れで空気を注入できません。
 - ・ 空気の注入口（バルブ）：米式タイプ
※オートバイや自動車などで使われているタイプです。
6. ライトが点灯することを確認してください。レンズが汚れている場合は、汚れを落としてください。
 7. リフレクタが汚れていないか確認してください。リフレクタが汚れている場合は、汚れを落としてください。



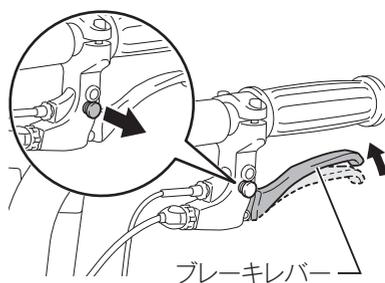
保守・点検について

ブレーキの調整

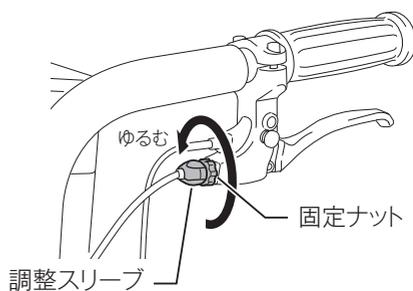
1. パイプフレーム（バケット）をはずして、取り付けフレームを前方に倒します。



2. ブレーキレバーを引いて、ブレーキレバーのロックを解除します。

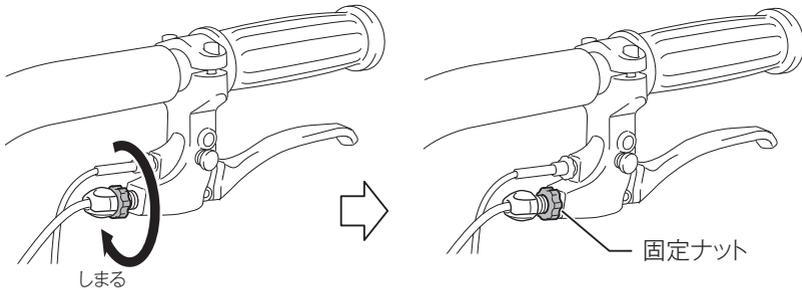


3. 調整スリーブと固定ナットをゆるめます。

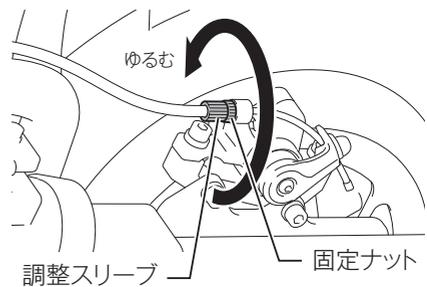


保守・点検について

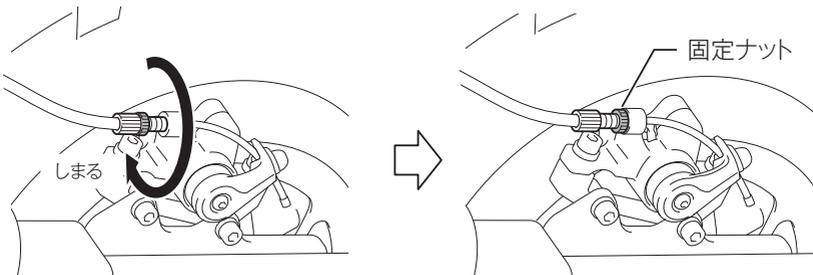
4. 固定ナットのみ締め付けます。



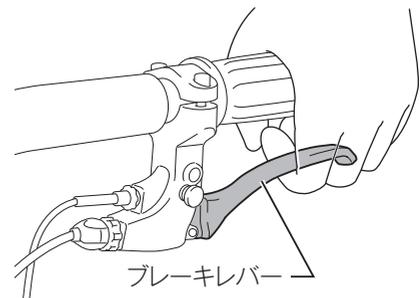
5. 前輪の調整スリーブと固定ナットを同時にゆるめます。



6. 固定ナットのみ締め付けます。

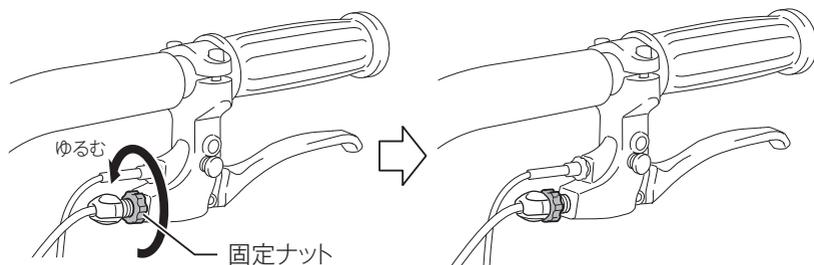


7. ブレーキレバーをいっぱいに引いたとき、レバーが中間の位置になることを確認します。
- ・ 中間の位置になっている場合は、手順 13 に進みます。
 - ・ 中間の位置になっていない場合は、手順 8 に進んで再調整します。

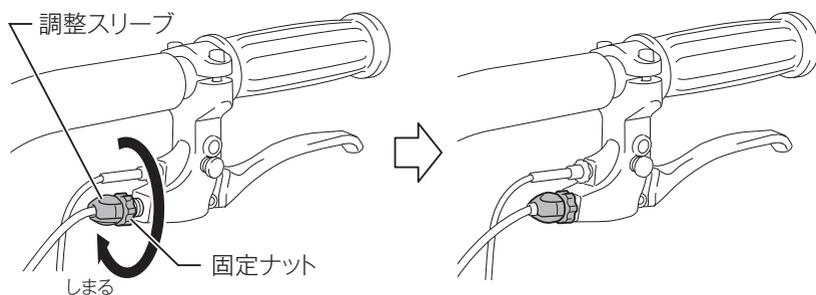


保守・点検について

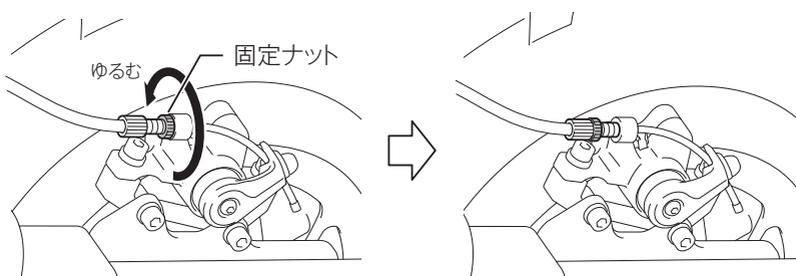
8. 固定ナットのみゆるめます。



9. 固定ナットと調整スリーブを同時に締め付けます。

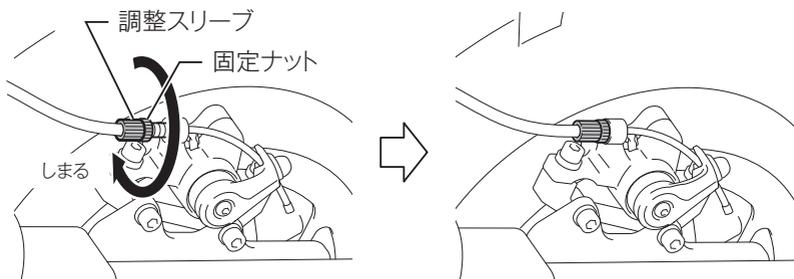


10. 固定ナットのみゆるめます。

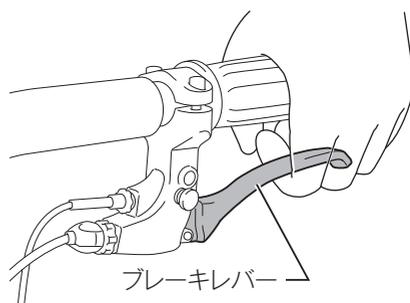


保守・点検について

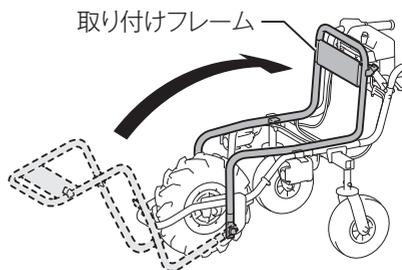
11. 固定ナットと調整スリーブを同時に締め付けます。



12. ブレーキレバーをいっぱいに引いたとき、レバーが中間の位置になることを確認します。



13. 取り付けフレームを戻して、パイプフレームを固定します。



⚠注意

前輪は自然に空気がぬけてしまうことがあります。

- ・ 重い荷物を載せたり、長期間使用しなかったりした際、空気がぬけることがあります。前輪の不具合によるものではありません。

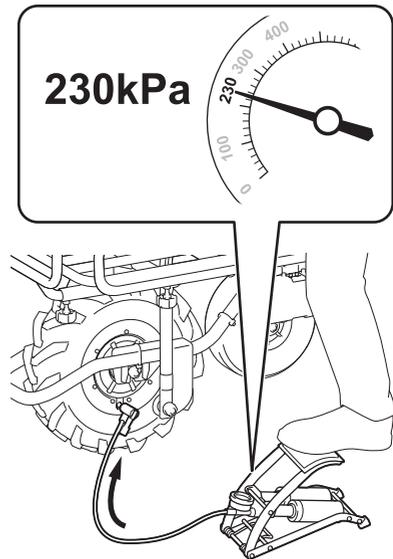
前輪の空気圧は推奨空気圧 230 kPa 付近を維持することをおすすめします。

- ・ 空気圧が高すぎると前輪が損傷する場合があります。
- ・ 空気圧が低すぎるとパンクなどの原因になります。

前輪の空気圧調整

- ・ 空気が抜けているようであれば、空気を注入してください。
1. タイヤの空気注入口に、空気入れのノズルを差し込みます。
 2. 空気が漏れないように注意して、空気を注入してください。

推奨空気圧：230 kPa



注

- ・ 市販の空気入れで空気を注入できます。
- ・ 空気の注入口（バルブ）：米式タイプ
※オートバイや自動車などで使われているタイプです。
- ・ 前輪に不具合がある場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理・交換をお申し付けください。

⚠ 警告

お手入れや水洗いの際は、必ずバッテリーとキーを抜き、バッテリーカバーを閉じてください。

- ・ 本機が作動し、けがの原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 泥汚れなどが付着したときは、水洗いで汚れを落として乾いたタオルで拭いてください。

注

- ・ 高圧洗浄機による水洗いは絶対にしないでください。本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881H20-9
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)